

# 新聞・雑誌室活用術

新聞・雑誌・年鑑といった、同一のタイトルのもとに終期を予定せずに刊行される出版物を逐次刊行物と呼びます。県図書館3階東側にある新聞・雑誌室では約12000種の逐次刊行物を所蔵し、皆さんにご利用いただいています。この特集では、新聞・雑誌室の資料やその利用方法などについてご紹介します。



## こんな資料があります

### 新聞

現在宮城県内で発行されている新聞を幅広く収集しています。また、北海道・東北地域のブロック紙や全国紙・業界紙も収集しています。新聞のバックナンバーは、縮刷版のほか、マイクロフィルムやCD-ROMの形で保存しています。



マイクロフィルムリーダー

### 雑誌

一般誌のほか、以下の種類の逐次刊行物を所蔵しています。各種企業の環境/CSR報告書、宮城県内に本・支店を持つ金融機関のディスクロージャー誌、技術情報誌・学会誌、『点字毎日』や『点字ジャーナル』のような点字雑誌、『Nature』や『Science』のような外国語雑誌  
\*一部の雑誌については、最新号をカウンター内においているものがあります。カウンター職員にお声がけください。  
\*宮城県内で発行された雑誌はみやぎ資料室にあります。



点字雑誌



外国語雑誌

### 年鑑・年報



さまざまな年鑑類

『河北年鑑』や『読売年鑑』のような総合的な内容のものをはじめ、会社年鑑・統計年鑑・美術年鑑などさまざまな分野の年鑑・年報類をご用意しています。  
\*一部の年鑑・年報は、参考図書コーナーや「しごとに役立つコーナー」に置いてあります。

### 行政資料

国・地方公共団体やその関連団体等が発行している資料です。代表的なものに白書類や統計などがあります。県図書館では発行省庁別に並べています。  
\*宮城県および県内自治体発行の行政資料はみやぎ資料室にあります。



白書類などの行政資料

### 宮城県内の大学が発行している紀要

### 全国の電話帳

## 新聞や雑誌の記事を探すには

### 新聞記事

検索コーナーにある端末を使って、河北新報・朝日新聞の記事を検索することができます。検索対象は、朝日新聞は1984(昭和59)年8月から、河北新報は1991(平成3)年8月からの記事です。  
ご利用は1回30分まで、印刷される場合にはA4サイズの用紙をお持ち下さい。このほか、読売新聞・毎日新聞・日経新聞等はCD-ROMで記事検索が可能です。



検索コーナーの端末

### 雑誌記事・雑誌論文

検索コーナーでは、1988(昭和63)年以降の雑誌記事が検索できるCD-ROM版『大宅壮一文庫雑誌記事索引』などが利用できます。またインターネット上では、国立国会図書館のホームページ内にある「雑誌記事索引」で記事や論文の検索が可能です。本館では3階調査相談カウンター脇にあるインターネット用パソコンで利用できます。

## しごとに役立つコーナーができました

本年2月、26番の書架を「しごとに役立つコーナー」としてリニューアルしました。従来それぞれ別の棚に配置してあった仕事に役立つ年鑑・白書類などをひとつの場所にまとめることにより、ビジネスに関する情報がよりいっそう探しやすくなりました。「経済データを調べる」「業界情報を調べる」「日本/外国の会社を調べる」といったテーマごとに資料を区分しています。例えば「業界情報を調べる」の棚には『業種別業界情報』『日本スーパー名鑑』などの資料が、また「日本の会社を調べる」の棚には『帝国データバンク会社年鑑』『東商信用録』などの資料があります。  
また、3階調査相談カウンター脇の端末では、全国の売り上げ上位50万社の企業データを検索できる『TSR企業情報ファイル』など仕事に役立つデータベースもご利用になれます。あわせてご利用下さい。



調査相談カウンター脇の端末

## カウンターの職員から



新聞や雑誌など逐次刊行物は新鮮な情報源として、私たちの生活や仕事の上で欠かせないものです。宮城県図書館では、新聞だけに限っても毎日20種類以上を受け入れています。利用者の方々が利用しやすいようにさまざまな逐次刊行物を整理・保存し、情報を提供することが図書館の重要な役割です。

開架だけではなく、書庫にも多数のバックナンバーを所蔵しています。手芸や文芸などの、比較的時代の流行に左右されにくい分野の雑誌は現在でも十分に役に立つものも多いため、時事的な雑誌からは刊行当時のリアルな時代状況を知ることができます。カウンターでお申し付けいただければ、ご希望の資料をお出ししますので、ぜひご利用ください。

よくご質問を受けるのですが、県図書館では、新聞雑誌室の資料を個人の利用者の方に貸出は行っていません。欠号を発生させることなく、大切な資料を後世に残すための措置ですので、ご理解をお願いいたします。県図書館はまた、市町村図書館で除籍になった雑誌などを受け入れ、保存することで県内の資料センターの機能も担っています。

新聞・雑誌室にある資料はもちろんのこと、マイクロフィルムリーダー、検索端末などの機器類や職員なども上手に活用していただくことで、お探しの情報を持ち帰っていただければ幸いです。(調査班・佐藤睦美)

## さまざまなサービス

### レファレンスサービスをご利用ください

雑誌の探し方がわからない、こんな記事を探している...といったご質問に、資料を調査して回答するサービスがレファレンスサービスです。ご相談は来館のほか、電話・ファクシミリ・郵送・e-mailでも受け付けています。

### 閉架書庫の資料もご利用になれます

自由に閲覧していただける開架部分には、購入雑誌を中心に、ご利用の多いものの最近分を配置しています。これより以前のバックナンバーや古い雑誌などは閉架書庫にありますので、カウンターにお申し付けください。



こんな雑誌も所蔵しています。  
(明治15(1882)年6月発行の『小学雑誌』第1-3号)

### コピーもできます

著作権法の範囲内で、所蔵資料をコピーしていただくことが可能です。料金は1枚10円です。また、マイクロフィルムプリンターから新聞を複写することも可能です。こちらは1枚30円となっています。また、県図書館に所蔵していない資料のコピーを国立国会図書館等の他図書館から取り寄せることも可能です。詳しくはカウンターにお問い合わせください。

### お問い合わせ先 新聞・雑誌室

電話 022-377-8449 ファックス 022-377-8492  
メールによるレファレンスのお申込は以下のURLからどうぞ。  
<http://www.pref.miyagi.jp/library/toiwase2.htm>

## 《叡智の杜》レポート 県庁講堂で文化財レプリカなどを一挙公開!

3月13・14日の両日、県庁行政庁舎2階の講堂で「きらめく叡智と美のしずく展」が開催されました。この展示会は、県図書館の「22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業」の中で行っている貴重資料修復保存事業の成果を県民の皆様に広く知っていただくことを目的とした移動展示会です。展示会では、県の文化財に指定されている『御領分絵図』『仙台城下絵図』などの古絵地図や『禽譜』『魚蟲譜』といった博物図譜のレプリカ資料が一堂に展示されました。中でも注目を集めたのは『仙台領国絵図』。元禄14年(1701)作製の幕府献上国絵図の写図のレプリカで、縦518cm、横845cmにも及ぶ巨大な絵図です。また、図書館・公民館や県立高校に対して貸出を行っている古典籍レプリカも同時に展示されました。来場者の方々は、先人たちが遺した資料のすばらしさとレプリカの精巧なできばえに驚いていた様子でした。

